暮らせる新宿 もっと。豊かに

5年間、新宿のみなさんの声をたくさん聴いてきました。

苦しくても自分でなんとかしろという「自己責任論」、若者が苦しいのは高齢者のせい、外国人のせいという「分断」が政治によって広げられています。分断でなく、みんなで政治を変えて、だれもが暮らしやすい新宿をつくりたい。区民の声で区政を変える、新宿から日本を変える、この思いで立候補を決意しました。ご一緒に新しい新宿をつくりましょう。

プロフィール 30歳。早稲田大学国際教養学部卒。アメリカに留学。区内の旅行会社勤務ののち日本共産党の職員に。26年総選挙で東京１区から立候補

応援します

元日本弁護士連合会会長
宇都宮健児

日本共産党参議員議員
山添　拓

社会民主党東京都連代表
青山秀雄

日本共産党 推薦
社会民主党 支持

1 住みやすい新宿へ

- タワマン建設より家賃に補助を
- 区営住宅を増設　●民泊の規制強化

2 物価高からくらしを守る区政へ

- 区役所建て替えより学校改修を急ぐ
- 小中学校の学用品・修学旅行費の無償化
- 年金で入れる介護施設
- シルバーパスは一律 1000 円に
- ケア労働者・中小企業の賃上げ支援

3 公共サービスもっと充実

- コミュニティバスの運行
- 駐輪場を増設・ラック幅を広げる
- 繁華街のゴミ箱を増やす

4 若い世代の声が届く区政に

- 若い世代担当の副区長　●奨学金返済支援
- 多様な人が学ぶ夜間中学を設置

5 憲法・人権・平和を守る

- 性搾取から女性を守る人権センター設置
- パートナーシップ・ファミリーシップ条例
- 多文化共生・新宿平和フォーラム実施

財源どうする?

- 積立金621億円の一部を活用
- 500億円以上かかる区役所建て替えを急がない
- 1棟30～50億円のタワマン建設への補助金を見直す
- 区長の4年ごとの退職金(2200万円)は廃止



無所属

黒田（くろだ）あさひ